

一般質問

この定例会では、議案や市政全般について、20人の議員が一般質問を行い、活発な議論を展開しました。

その概要は、次のとおりです。
（一）内には、各党派等からの質問申し出時間を記載しています。

会派名など	質問者数	質問時間
水曜会	6人	370分
公明党	5人	215分
誠友会	4人	195分
市民連合	2人	150分
日本共産党	1人	120分
新政クラブ	1人	70分
無所属	1人	30分

*一般質問の録画放送をインターネットで視聴することができます。（詳細は下段）



おた 大田 祐介
水曜会
70分

山野小・中学校再編後は

問 ①地域資源を生かした「林間学校」に衣替えし、学習の一環として市内全域から多くの児童生徒を呼び寄せては。②近隣市町で林間学校を設置し実績を上げている例は。

答 ①ご提案も踏まえ、山野地域の今後の在り方などを地域や保

小中学校の自然体験活動は

護者の意見を聞きながら協議する。②三次市の廃校後の校舎を改装した体験交流宿泊施設は、野外活動等の場として利用され地域の活性化につながっていると聞いている。

問 取り組み状況と成果は。

答 ウォークラリーや農業・漁業体験等を実施している。草木や生き物に直接触れ、仲間と協力して活動する体験を通して自然のすばらしさを感じ、新たなことにチャレンジする意欲が高まっている。



さかきひろし 神原 則男
水曜会
50分

人権尊重のまちづくり条例は

問 条例制定の経緯と目的は。また、今後の取り組みは。

答 本市では、人権施策基本方針に基づき、さまざまな人権課題の解決や全ての市民の人権が大切にされる社会の実現に向け、人権施策の推進に取り組んできた。しかし、市民意識調査の結果から、

差別や偏見は今もなお存在していることを受け、大学の教授などで構成する福山市人権施策有識者検討会議からの提言により、誰もが真に大切にされる社会の実現に向けて、より一層人権施策を推進するため条例を制定することとした。今後は、学識経験者や弁護士、人権関係団体の代表者などで構成する福山市人権施策推進審議会を立ち上げ、人権施策の基本理念に関する事項、教育および啓発の推進、相談体制・支援体制の整備などを議論し、それを踏まえ人権施策基本方針の改訂に生かしていく。



いしぐち さとし 石口 智志
水曜会
70分

WiFi整備は

問 ①公民館などへの整備状況と具体的な活用事例は。②市民病院へWiFi環境整備業務委託料が計上されているが、事業の具体は。

答 ①昨年度、公民館、交流館など92施設のうち83施設にフリーWiFiを整備し、ワクチン接

種のオンライン予約やスマートフォン教室などに活用している。残り9施設は光ファイバの整備完了後、速やかに整備する。②新型コロナウイルスの感染拡大に伴い入院患者への面会制限を実施しており、ビデオ通話の需要が高まっている。そのため全ての病室と外来の待合にWiFi環境を整備し療養環境の向上を図る。併せて、オンラインによる学会や研修への参加、最新の医療情報の収集などに活用し、質の高い医療の提供に努める。

* 9月定例会の一般質問の録画放送を視聴する場合
各議員記事のQRコードをスマートフォンなどで読み取ると、一般質問の録画が視聴できます。
また、[福山市のホームページ](#) → [福山市議会](#) → [議会中継](#) → ここからも視聴できます。